

学生が翻訳！中国語版パンフの作成。

名古屋学院大学国際文化学部樋口勇夫教授のゼミでは、中国語学習の一環として、行政や商業施設と協力し「中国語版パンフ」を作成しています。昨年4月には熱田区からの依頼を受けて『熱田ナビ Select20(中国語版)』を完成させました。今月7日には名古屋港水族館と協同で作成した『名古屋港水族館パンフ中国語版「簡体字版(大陸向け)」、「繁体字版(台湾向け)」』を発行します。パンフ作成における翻訳は、中国への留学を経験したゼミ学生らが中心となって行っています。樋口勇夫教授のゼミでは、2017年秋には大学発信の「熱田エリア」紹介パンフの中国語版作成も予定しており、今後もキャンパスのある熱田区を中心に中国語訳を必要とする媒体に積極的に関わっていきます。



【熱田ナビ Select20(中国語版)】



【名古屋港水族館パンフ(中国語版)】

【熱田ナビ Select20(中国語版)】

地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)の一環として、樋口教授とゼミ生8名が熱田区と協力し、『熱田ナビ Select20(中国語版)』観光ガイドパンフレットを作成。この取組は、イオンモール熱田の改装に伴い、店内に「熱田近郊名所20選」を掲示するにあたり中国語版を作成して欲しいという依頼から始まりました。

【名古屋港水族館パンフ(中国語版)】

本学では、名古屋港ガーデンふ頭を中心としたエリアと名古屋学院大学(名古屋キャンパス)がある熱田区の地域活性化に取り組むことを目的として、2016年3月に(公財)名古屋みなと振興財団(名古屋港水族館)と連携協定を締結しています。今回は、協定活動の一環として、名古屋港水族館のパンフレット(中国語版/簡体字版・繁体字版)の作成に携わりました。10,000部の発行を予定しています。

■ 3/7(火)10:30~11:30 名古屋学院大学白鳥学舎にて「名古屋港水族館パンフ配布イベント」を開催します。

【中国語学習の一環としての活動】

中国語版パンフレットの作成に関わった学生たちは、「実践で日本語を中国語に翻訳する貴重な機会を得られたことで、今後の中国語学習に対するモチベーションが上がった。」「中国語は話し言葉と書き言葉の差が大きいので苦労したが、完成品を手にして、達成感があった。」「自分たちが大学で学んだことを活かして地域に貢献でき、嬉しかった。」といった感想を述べています。